

2020・11 vol.26



原町本店
〒975-0026
南相馬市原町区栄町2-83
TEL:0244-24-2929

いわき店
〒970-8026
いわき市平三倉69-8 第2地産ビル1F
TEL:0246-85-5298

みなさまこんにちは！なんと、今年も残すところ2ヶ月となってしまいました。今年はコロナで始まり、コロナで終わるのか〜と、なんだかあつという間の一年でした。11月は秋も深まり、紅葉が色鮮やかに街を彩ります。朝晩の冷え込みもだんだんと厳しくなる季節ですが、秋色の着物で晩秋を楽しんでみませんか。着物の文様は、身の回りに見られる季節が美の一番の手本とされ描かれてきました。秋を告げる文様は日本人ならではの感性がたくさんみられます。紅葉にはじまり、菊、萩、尾花(ススキ)、葛、撫子、女郎花、藤袴、桔梗など秋の七草も楽しめますね。また、秋ならではの色彩のコーディネートを楽しむのもおすすめです。朱色の帯揚げに黄色の帯締めなど、秋の景色をそのまま生かした装いを自由に楽しんでみてはいかがでしょうか。当店ではお持ちのお着物や帯に合わせる小物のコーディネートのご相談も承りますので、遠慮なくお気軽にご相談ください。

新商品入荷しました！



京都のくみひもメーカー「昇苑くみひも」の新商品、「くみひもアクセント」が入荷しました。きものカラーコーディネーターの先生が身に着けていらっしゃるのを見て「可愛い！！」と大絶賛し、ご紹介いただけただご縁で入荷させていただきました。とても気に入っていて、マスクチャームとして毎日身に付けております。マスクチャームとしてはもちろんですが、小物につけても可愛いチャームは職人さんの手作りです。マスク姿でもおしゃれを楽しみたい方にピッタリ！きものでも洋服でもマスク姿がワンランクアップすること間違いなしです！



<ご来場ありがとうございました part2>

10月16日(金)~18日(日)にいわきのラトブにて「秋のきもの総力祭」を開催いたしました。たくさんのお客様にご来場いただき誠にありがとうございます。

今回は、問屋協賛の下、滝泰のおぼろ染めをはじめ、桐生絞り、尾峨嗟、仁仙など名門メーカーの商品が多数揃い、目にも鮮やかな会場となりました。

コロナ禍でも無事展示会が開催できたこと、お客様が足を運んでくださったこと、本当に有難い3日間でした。支えてくださったすべての方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。



ポップでアートなおしゃれ長襦袢も多数揃いました。色鮮やかに会場を明るくしてくれました。ちらりと見える長襦袢のおしゃれ楽しいです。



大好きな桐生絞の商品も色鮮やかでした。自由な発想の織と染め、絞りの技法はさすが桐生ならではです。



おぼろ染めの技法は本当に手が込んでいて素晴らしいものばかりでした。人の手だからこそ作り上げることのできる、本当に尊い商品でした。

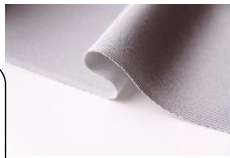


<yoroduya コーディネート～江戸小紋～>

江戸小紋で3通りのコーディネート

どんなシーンでも活躍できる江戸小紋に表情の違う帯を合わせた3通りのコーディネートです。

いろんなシーンで大活躍の江戸小紋は帯の合わせ方を楽しんで！！



今回はグレーの「万筋」を使ってコーディネートしました。江戸小紋の3役に並んで別格とされること多い万筋は縞の極柄で限りなく無地に近く誰にも文句を言わせない決然とした雰囲気があります。

江戸小紋
88,000円(税別)



ちりめんの染め帯は栗山工房の京紅型。無地に近い江戸小紋だからこそ華やかな色合いの帯を合わせて。クラス会や忘年会などの軽いパーティーにもピッタリ。

紅型ちりめん染め名古屋帯
228,000円(税別)
袴秀帯締め
15,000円(税別)



hibicolleの八寸帯でカジュアル感を出せば各の高い江戸小紋も粋な普段着に早変わり。友人との楽しいお食事やお買い物など気軽に装って。

Hibicolle八寸帯
100,000円(税別)
丸組帯締め
3,800円(税別)



フォーマルな袋帯を合わせて、結婚式など華やかなお祝いの席に。正倉院華紋の袋帯なら格調高い着こなしに。帯締めも金糸が入った華やかなものを合わせて。

織匠小平袋帯
248,000円(税込)
袴秀帯締め
22,000円(税別)



徳川家康が用いた定め柄の「御召十」帯合わせ次第でモダンな着こなしも。



江戸小紋の「三役」の中でも最高格といわれる「鯨」。特に黒の鯨小紋はどんなシーンでも着こなせる万能選手！

教えて！着付けのコツ

～お太鼓が傾く～

「帯枕は鏡を見ないで帯の上線にのせます」

帯枕を帯の上線にのせるときに鏡を見てしまうと、体がよじれるので帯山が傾きがちになります。

顔はまっすぐ前に向けて、指先と体の感覚だけでのせましょう。お太鼓柄の帯の場合は、鏡を見ながら柄の位置を確認し、位置が決まったら鏡を見ずに手と体の感覚を頼りに帯枕を帯の上線にのせます。

鏡を見ずに指と体の感覚で帯枕を帯の上線にのせ、帯山は水平を保つ。体の感覚と指の感覚を頼りに、帯枕を帯の上線に一気にのせます。



参考文献：着物の辞典 大久保信子監修



今月のおすすめ！

柿しぶ染 帯締め
7,700円(税込み)

今回のおすすめ商品は、柿しぶ染の帯締め全15色です。柿渋は平安時代より様々な用途に使用されてきました。その柿渋を下染めに使用し、その後、化学染料で染め上げ京くみひもとして作られた京すいらんシリーズの平組帯締めです。色落ちや色移り、退色や色汚染に対する強さを表す堅牢度は4級以上となっています。下染めに柿渋を使用しているため、明るく落ち着いた色味に仕上がっています。日本古来の色彩感覚あふれる帯締めは、これからのシーズンにピッタリな色合いばかりです。

また、平組の京くみひもならではの締めやすさ、しっかりと形が整うところは、一度使用したらその使い心地に納得されるはず。フォーマルからカジュアルまで、幅広くお使いいただける自信の商品です。ぜひお気に入りの1色を見つけてください！

・・・若女将のつぶやき・・・

9月号のつぶやきでお伝えした、原町店スタッフの新妻(河内)さんが、9月10日に元気な男の子を産みました！私も久々に抱っこさせてもらいましたが、その小ささと可愛さにメロメロになりました♡もう、甥っ子？の気分を通り越して孫？の可愛さを味わいました。新妻さんとは、震災後に知り合い一緒に南相馬市の臨時災害放送局「ひばりFM」のスタッフとして姉妹のように仲良く苦楽を共にしました。最近、また一緒にラジオやりたいな～なんてふつつつ湧き上がる思いを胸に彼女の復帰を待つ身。産休後もしばらくは育児休業となりますので、引き続き原町店の方は人手不足にてご迷惑をおかけするかもしれませんが温かい目で見守ってください♪